

Society 5.0

世界向け発信事業（案）



1 . 開催目的

- u 我が国では、「サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」である
“ Society5.0 ”の実現に向け、科学技術・イノベーションに関する政策を推進。
- u 新しい「第6期科学技術・イノベーション基本計画（2021～2025年度）」の開始年度にあわせ、“ Society 5.0 ”の未来像を、目に見える形でアピール。
- u “ Society 5.0 ”の実現に資する我が国の有する最先端かつ独創的な科学技術を集結し、未来社会を実感できる展示会を開催。
- u 我が国の最先端の科学技術とそれによって拓かれる未来像を、国内外の広く一般の方々に向けて発信。
- u これにより、多くの方に、科学技術の面白さや大切さを感じ、好きになってもらうことを目指す。

「第5期科学技術基本計画」（平成28年1月22日閣議決定）（抜粋）

第2章（2）世界に先駆けた「超スマート社会」の実現（Society 5.0）

人々に豊かさをもたらす「超スマート社会」を未来社会の姿として共有し、その実現に向けた一連の取組を更に深化させつつ「Society 5.0」として強力に推進し、世界に先駆けて超スマート社会を実現していく。

第3章 経済・社会課題への対応

本基本計画の最終年度である2020年度は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「大会」という。）の開催年であり、大会を、国内外に我が国の科学技術イノベーションの成果を発信するショーケースとして活用するとともに、我が国産業の世界展開や海外企業の対日投資等を喚起し、2020年度以降も我が国全体で経済の好循環を引き起こす絶好の機会として位置付ける。

3 . 展示会の特徴 (1)

魅力あふれる東京スカイツリータウンからの情報発信

- 国内有数の集客地である「東京スカイツリータウン」との連携
- タウン全体を活用して、科学技術を感じる展示会
- 隅田川、浅草などの観光地に至近で、国内外から幅広い年齢層の方々が訪問
- 充実した公共交通機関が立地（羽田空港/成田空港/浅草/大手町/銀座/品川/渋谷/日光・鬼怒川等と鉄道が直結）
- 地元自治体との連携



全世界への情報発信

○日本語及び英語のほか、中国語・スペイン語・フランス語・アラビア語等の
多言語による情報発信

出展企業等には、日本語と英語での展示を依頼。

○現地に来訪できなくとも、未来社会の姿や最先端の科学技術を観取できるよう、情報通信技術を活用した多言語による「**サイバー（バーチャル）展示**」を企画

○世界の注目を集める「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催期間ともあわせることで、情報発信効果をアップ



3 . 展示会の特徴 (3)

積極的な広報活動の展開

○展示会専用のウェブサイト（多言語）の構築、ポスター、パンフレット等の作成・配布、SNSの活用

○テレビ、ラジオ、新聞等による情報発信

○タウン内全域での広告・プロモーション

○海外の主要国メディアへのアクセス

○出展企業等への広告効果の結果共有



3 . 展示会の特徴（4）

新型コロナウイルス感染症対策

- 新型コロナウイルス感染症対策を重視し、会場レイアウト、期日等を柔軟に対応していく予定（関係者のご理解とご協力をお願いしたい）
- 情報通信技術を活用した多言語による「サイバー（バーチャル）展示」を企画
- 事業実施に当たっては、イベント事業者感染症対策の専門家による客観的評価を義務付け
- 事業者関係者間での迅速な情報共有体制の構築と、対策実施の徹底を依頼



4 . 展示会開催概要

期間・会場は原案。今後の状況を踏まえ、変更の可能性あり

主催	内閣府
共催	国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）他（調整中）
会場	東京スカイツリータウン エリア
開催日程	2021年7月15日（木）～9月5日（日）（53日間）

フィジカル展示 （予定）

メイン展示 7月15日（木）～28日（水）（14日間）
会場：4F スカイアリーナに構築する特設展示場

- ・未来社会を実感する展示
（Society 5.0の未来像、先端科学技術に関する実機及びモックアップ等を展示）

サブ展示 7月15日（木）～9月5日（日）（53日間）
会場：東京スカイツリー天望回廊

- ・メイン展示と連動した映像・画像等を活用
- ・本展示会の主旨を簡潔にかつ長期間に渡り展示

企業等展示 7月15日（木）～7月28日（水）のうちの5日間
会場：5F スペース634

- ・企業等によるブース出展を通じ未来社会を体感

サイバー展示 （予定）

期間：7月17日（土）～9月5日（日）の51日間

現地に来訪せずとも、フィジカル展示会場で展示される未来社会の姿、最先端の科学技術等を観取可能なインターネット情報発信

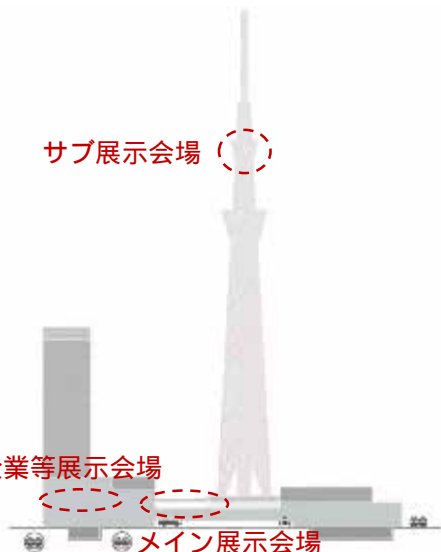
入場料

無料（サブ展示会場の東京スカイツリー天望回廊へは有料の入場券が必要）

サブ展示会場

企業等展示会場

メイン展示会場



5 . 来場者数見込み

n来場者数 見込み (期間中)

約 25万人

うち外国人 (3割) 約 8万人

スカイツリーの来場者と
同程度の人数が本事業の来場者と想定

来場者数実績

	東京 ソラマチ	スカイツリー	
			うち 外国人
2019年7月	258万人	28万人	10万人

出典：東武タワースカイツリー株式会社、東武タウンソラマチ株式会社

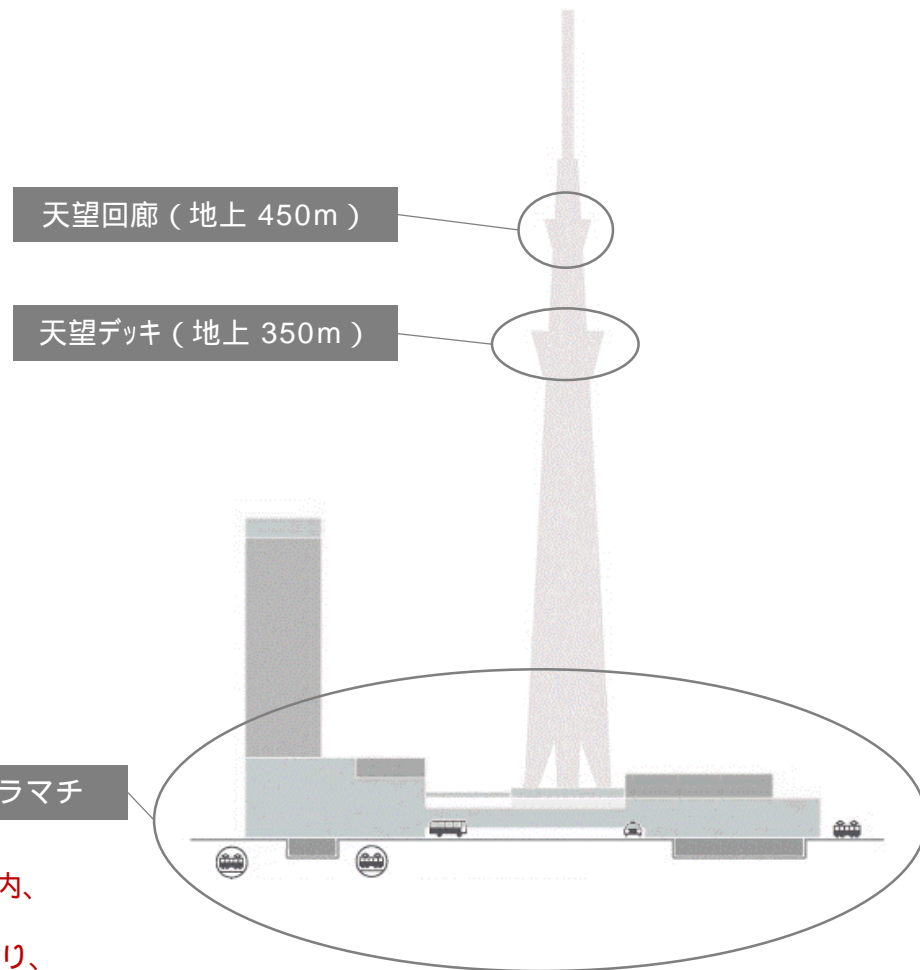
天望回廊 (地上 450m)

天望デッキ (地上 350m)

東京ソラマチ

上記の東京ソラマチの7月来場者数のうち、14日分に相当する約120万人の内、約2割を本事業の来場者数と想定。

なお、この来場者数見込みは、新型コロナウイルス感染症拡大前の試算であり、2021年7月の正確な試算は困難ではあるものの、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、可能な限り、見込み通りの来場者数の実現を目指すこととしている。



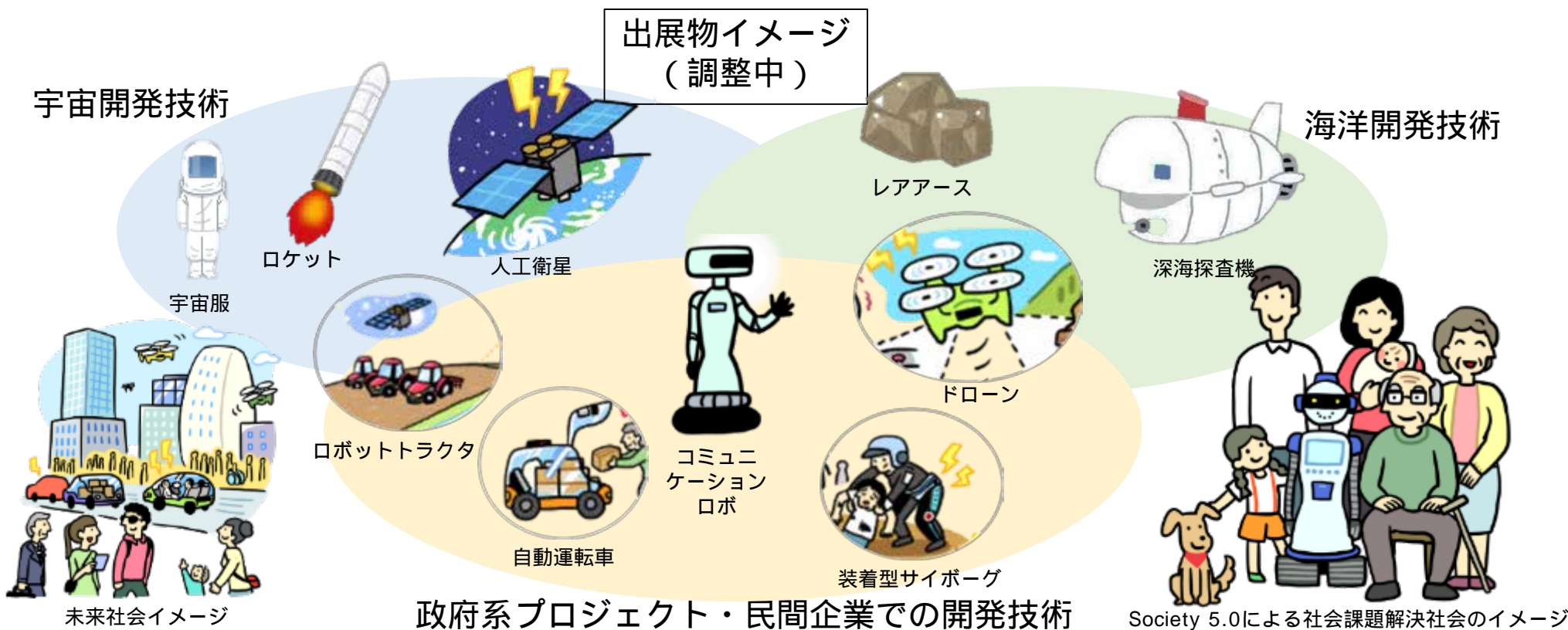
6 . 展示物のイメージ

○ “Society 5.0”の未来像に関する映像

○その実現に資する最先端かつ独創的な科学技術に関する実機、映像、パネル等

○ 第1期及び第2期「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」、
「革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）」等での成果

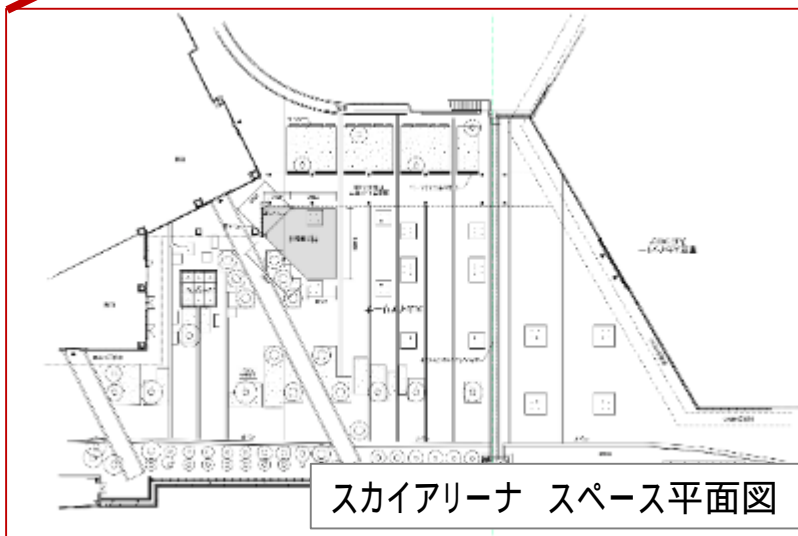
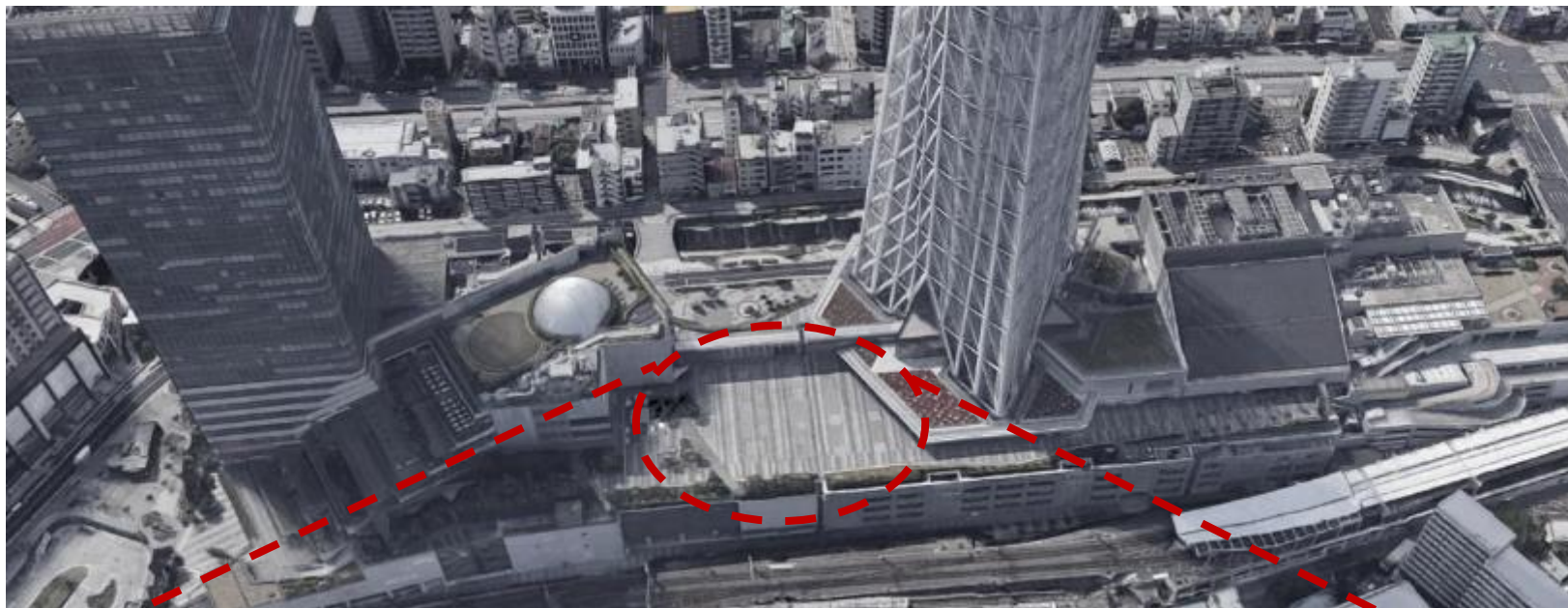
○ 国立研究開発法人、国、民間企業等での成果 等



7. メイン展示会場外観

東京スカイツリータウン 4F スカイアリーナ

期間・会場は原案。今後の状況を踏まえ、変更の可能性あり



スカイアリーナ スペース平面図



スカイアリーナ【1,900m²】
3,000名参加可能空間

8 . メイン展示会場の設置イメージ

期間・会場は原案。今後の状況を踏まえ、変更の可能性あり

【4F スカイアリーナ】・屋外に仮設の建屋を設置し、展示スペースを構築

SIP等の政府系の研究開発案件だけでなく、Society 5.0に資する展示物を広く募って配置予定

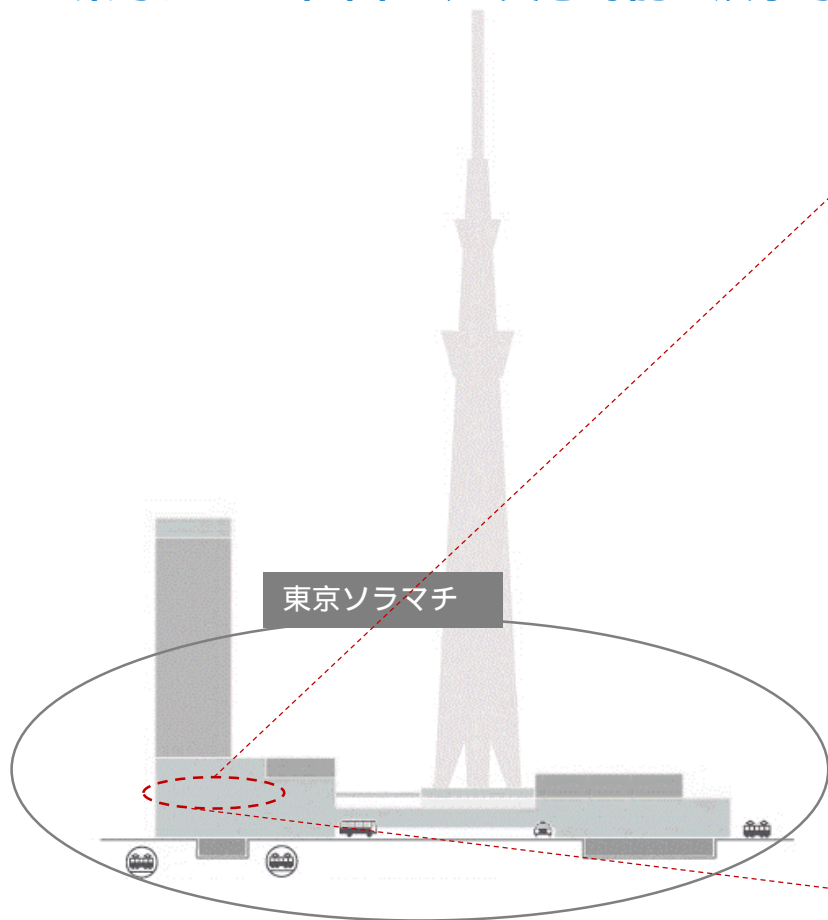


展示内容は検討中

期間・会場は原案。今後の状況を踏まえ、変更の可能性あり

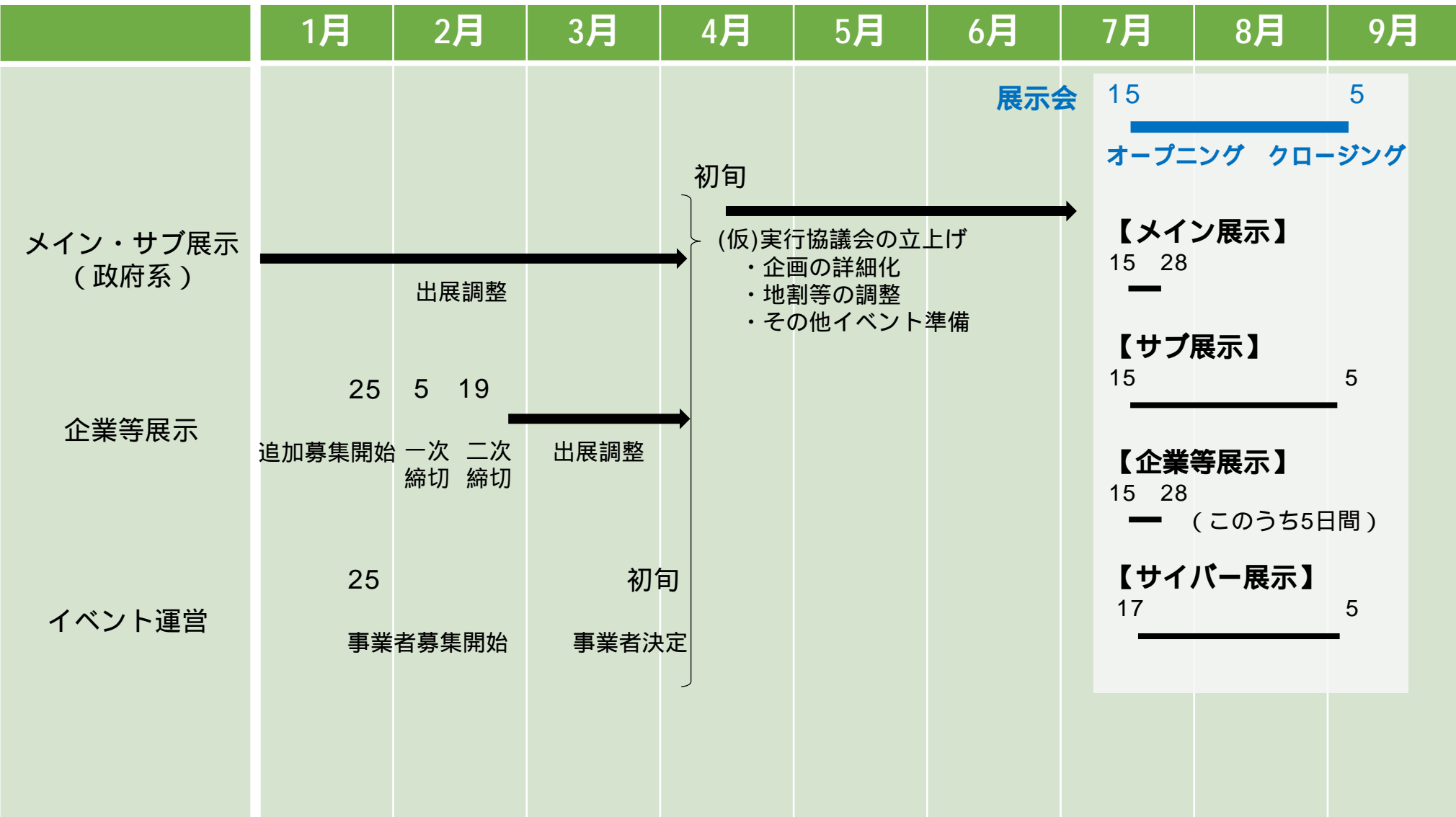
【5F スペース634】

企業等からの未来社会を実感可能な展示等を募集



展示スペースの詳細は、提案内容を踏まえて決定する予定
事業の全体企画の中で、東京スカイツリータウンエリア内の別の場所を活用する可能性あり

10. スケジュール (予定)



11 . 企業等展示の応募について

応募にあたってのポイント

- 我が国が目指す「Society 5.0」の未来像を世界に向けて発信するという、本展示会の主旨に沿う展示内容であること（提案内容によっては、お断りする場合があります）
- 一般の方々を対象にした分かりやすい展示であること
- 実機による動態展示など、見ごたえのある展示となるよう検討頂きたい

出展者に求められる主な要件（詳細は出展規定をご確認ください。）

- 展示空間の構築・運営に必要な実費相当額を負担（出展料の設定はなし）
- サイバー展示、その他の取材・撮影への協力
- 新型コロナウイルス感染症対策の遵守

出展メリット

- 世界中の多くの方々に効果的にリーチ可能
- 政府系イベントへの貢献としてアピール可能